

プログラム

13:00 **開会挨拶** 東北大学総長 里見 進

13:05 **来賓挨拶** 文部科学省研究振興局長 関 靖直氏

13:10 **復興アクションのこれまでとこれから**
東北大学理事(震災復興推進担当)、災害復興新生研究機構長 原 信義

13:50 **基調講演**
「日本一愛される球団を目指して
～東北を熱くする次世代の力～」
株式会社楽天野球団 代表取締役社長 立花 陽三氏

休憩 (20分)

15:10 **パネルディスカッション**
～東北復興、日本新生へ向けた次世代の役割～

パネリスト

●災害科学国際研究推進プロジェクト
東北大学大学院工学研究科 博士課程後期1年 牧野嶋 文泰

●地域医療再構築プロジェクト
東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 助教 三島 英換

●東北マリンサイエンスプロジェクト
東北大学大学院農学研究科 特任助教 片山 亜優

●東北復興農学センター
東北大学大学院農学研究科 博士課程前期2年 瀧澤 修平

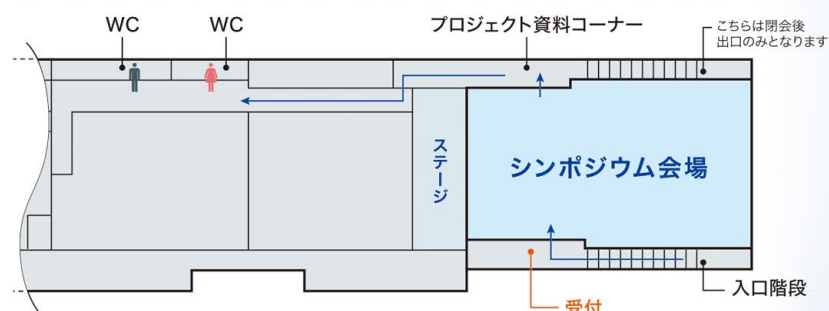
●廃止措置のための格納容器・建屋等信頼性維持と
廃棄物処理・処分に関する基盤研究及び中核人材育成プログラム
東北大学大学院工学研究科 博士課程前期2年 加藤 優志

コーディネーター

災害科学国際研究所長、災害復興新生研究機構副機構長 今村 文彦

16:25 **閉会挨拶**
災害科学国際研究所長、災害復興新生研究機構副機構長 今村 文彦

会場案内図 (マルチメディア教育研究棟 2階)



主要プロジェクト URL

- 1 災害科学国際研究推進**
災害科学国際研究所 | <http://irides.tohoku.ac.jp/>
- 2 地域医療再構築**
総合地域医療研修センター | <http://www.ctc.med.tohoku.ac.jp/>
東北メディカル・メガバンク機構 | <http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>
- 3 環境エネルギー**
東北復興次世代エネルギー
研究開発プロジェクト | <http://net-tohoku.sakura.ne.jp/wp/>
- 4 情報通信再構築**
電気通信研究機構 | <http://www.roec.tohoku.ac.jp/>
- 5 東北マリンサイエンス**
東北マリンサイエンス拠点形成事業 | <http://www.agri.tohoku.ac.jp/teams/>
- 6 放射性物質汚染対策**
生活環境早期復旧技術研究センター | <http://reer.qse.tohoku.ac.jp/>
被災動物の包括的線量評価事業 | <http://www2.idac.tohoku.ac.jp/hisaidoubutsu/>
- 7 地域産業復興支援**
地域イノベーション研究センター | <http://www.econ.tohoku.ac.jp/rirc/>
- 8 復興産学連携推進**
東北発 素材技術先導プロジェクト | <http://www.tohoku-timt.net/>
次世代自動車宮城県エリア | <http://www.miyagicar.com/>
知と医療機器創生宮城県エリア | <http://sendai-cyber.icr-eq.co.jp/>
復興促進プログラム (JST) | <http://www.jst.go.jp/fukkou/about/>
- 9 東北復興農学センター**
<http://www.tascri.agri.tohoku.ac.jp/>
- 10 原子炉廃止措置基盤研究センター**
<http://dec.tohoku.ac.jp/>

お問合せ

東北大学 災害復興新生研究機構 企画推進室(総長室)

E-mail skk-som@grp.tohoku.ac.jp

TEL 022-217-5009 FAX 022-217-4856

<http://www.idrrr.tohoku.ac.jp>



東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム

未来を創造する 次世代の力

開催日
平成29年 **3月9日(木)**

時間
13:00~16:30

場所
東北大学川内北キャンパス
マルチメディア教育研究棟 2階
マルチメディアホール

主催:東北大学 後援:文部科学省

震災から5年以上が経過し、現在も多様な方が復興の活動を展開していますが、復興への道のりは長く、新しい未来を切り拓いていくためには、次世代を担っていく若者の関心を高め、より多くの若者が復興へ向けた活動を展開していく必要があります。

本シンポジウムでは、「未来を創造する次世代の力」をテーマに、楽天野球団の立花社長よりご講演いただくとともに、本機構プロジェクトに関わって研究活動を行っている若手教員及び大学院生より震災からこれまでの経験、現在の取り組み、将来への想いを発表し、議論することで、東北復興、日本新生に対する次世代のあるべき姿を広く発信していきます。

機構について



原 信義

東北大学理事
(震災復興推進担当)、
災害復興新生研究機構長

東北大学は、被災地の中心にある総合大学として、東北の復興と日本の新生を先導する責務を果たすべく、2011年4月に、「東北大学災害復興新生研究機構」を設置しました。災害科学や地域医療、環境エネルギーなど8つの重点プロジェクトを編成するとともに、教職員が自発的に取り組む100を超える復興支援プロジェクトを始動させ、国内外の様々な関係機関との連携を図りながら全学を挙げてプロジェクトを推進しています。

今後も私たちは「東北復興・日本新生の先導」のスローガンのもと、創造的復興の実現に向けて継続的かつ発展的な活動を進めていきたいと考えております。引き続き皆様の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

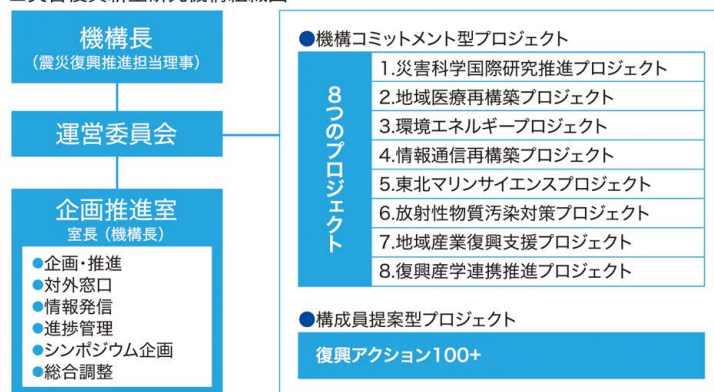
目 的

被災地域の中心にある総合大学として、復興と新生を先導する

基本理念

- 理念1 復興・地域再生への貢献
- 理念2 災害復興に関する総合研究開発拠点形成
- 理念3 分野横断的な研究組織で課題解決型プロジェクトを形成

■災害復興新生研究機構組織図



基 調 講 演

「日本一愛される球団を目指して ～東北を熱くする次世代の力～」

1971年1月10日生まれ 東京出身。1994年慶應義塾大学を卒業後、ソロモンブラザーズ証券会社に入社。その後ゴールドマン・サックス証券へ入社し、その間、慶應義塾大学ラグビー部コーチに就任し、全国大学ラグビーフットボール選手権大会優勝にも尽力。2010年メリルリンチ日本証券へ入社し、翌年常務執行役員に就任。2012年8月より株式会社楽天野球団

代表取締役社長に就任。2015年3月より楽天フットボールクラブ株式会社代表取締役副会長に就任し、上記代表取締役社長職と兼務。

株式会社楽天野球団 代表取締役社長
立花 陽三氏



パネルディスカッション ～東北復興、日本新生へ向けた次世代の役割～

パネリスト

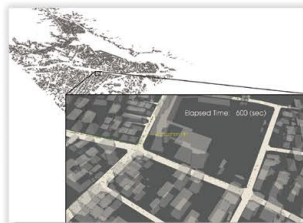
災害科学国際研究推進プロジェクト



牧野嶋 文泰

東北大学大学院工学研究科
博士課程後期1年

群馬県出身。2016年3月に東北大学大学院博士前期課程を修了後、2016年4月より同大学院博士後期課程在学中、今村文彦教授(災害科学国際研究所 津波工学研究室)に師事。避難実態調査、具体的な津波避難のルールづくりを支援するための避難シミュレーション技術の開発と、その社会実装の方法について研究しています。



パネリスト

地域医療再構築プロジェクト



三島 英換

東北大学病院
腎・高血圧・内分泌科 助教

宮城県出身。2006年東北大学医学部卒業。2013年に東北大学医学系研究科で博士を取得後、2016年より現職。2013～2015年に東北メディカル・メガバンク機構からの派遣として公立志津川病院に各4ヶ月間勤務し、現在は大学病院で臨床と研究を行っています。専門は腎臓病学、高血圧学。



パネリスト

東北マリンサイエンスプロジェクト



片山 亜優

東北大学大学院農学研究科
特任助教

神奈川県出身。2011年3月東北大学大学院農学研究科博士前期課程修了。博士後期課程進学直前に震災に遭う。2014年3月に博士を取得。2011年より宮城県名取川の漁場環境調査に取り組み、2016年より現職。現在は、女川湾を中心に養殖環境を調査し、より効率的な養殖を目指して、養殖生産物の食性や品質について研究しています。



パネリスト

東北復興農学センター



瀧澤 修平

東北大学大学院農学研究科
博士課程前期2年

栃木県出身。2015年東北大学農学部を卒業後、現在、ウシの第一胃液に生息する微生物(ルーメン微生物)を活用した植物系廃棄物のメタン発酵について研究しています。具体的には、このメタン発酵の応用・発展を目指した①ルーメン微生物による植物系廃棄物の分解特性の解明、②システム高効率化の検証を行っています。



パネリスト

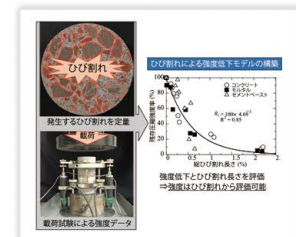
廃止措置のための格納容器・建屋等信頼性維持と廃棄物処理・処分に関する基盤研究及び中核人材育成プログラム



加藤 優志

東北大学大学院工学研究科
博士課程前期2年

福島県会津若松市出身。2011年東日本大震災を会津若松で経験し、同年4月に東北大学工学部建築・社会環境工学科入学。2015年同卒業後、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻に進学。現在は建築材料を専門とする研究室に所属し、高温加熱を受けたコンクリートの物性変化に関する研究を行っています。



コーディネーター



今村 文彦

災害科学国際研究所長、
災害復興新生研究機構副機構長

1961年9月生まれ、山梨県出身。1989年東北大学大学院博士後期課程修了。東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014年より現職。専攻は津波工学で、世界での津波被害の軽減を目指し、数値計算による津波予報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く行っています。2016年に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。中央防災会議専門調査会委員等。FM仙台などでラジオ啓発番組などを12年間担当。